

静岡県精神保健福祉協会

News Letter-No. 10-

巻頭言

静岡県精神保健福祉協会 常務理事

山岡 功一（神経科浜松病院 院長）

会員の皆様方のご理解・ご協力に感謝申し上げます。

あの東日本大震災から2年を経て未だに全国の避難者等の数は、約31万5千人にのぼり、避難所にいる方は、139人（平成25年2月7日）とのこと。現在も大変な思いを続けていらっしゃると思います。医療機関の集まりでは支援継続が繰り返し話されています。



当時の宮城県災害医療コーディネーターであられた石井正先生（当時・石巻赤十字病院医療社会事業部長，現在・東北大学病院総合地域医療教育支援部教授）のお話を伺いました。その中で医者が何をするのかということではなく、周りの人と一緒にどうするのかというお話が印象的でした。震災当日、状況が把握できず闇に沈む町を見ながら困窮する人達の様子に思いを馳せていらっしゃいました。まず、通信会社や住宅メーカーの方々の協力もあり、すぐに病院前にテントを設営してくれたり、携帯電話の移動基地局を設営してくれたりしました。そこから避難所を巡回し、ネットワークを組み、必要なところに適切な医療を提供する組織的な活動が可能となりました。避難所の中で精神障害の方の対応に配慮された事もおありだったようです。その背景には日頃の医療だけではない地域内の広いネットワークが存在していました。公的なネットワークもあれば、呑み仲間もあったようです。

実際、保健、衛生あるいは通信、交通や建物・設備まで患者さんが医療を受けるために必要な要素は多様で、その中で医療が展開されています。

静岡県は自然災害と向き合っています。障害をかかえた方々も困らないように、それぞれが何ができるかわかる体制や関係が必要です。職場や立場を超えた関係の構築が基盤となり、それを作っていくための活動を行っていくことが重要と思っています。当事者を中心に顔の見える関係を作っていくことが大切だと思います。

今後も精神に疾患・障害をかかえた方々への理解が一層進むよう当協会へのご理解、ご協力をお願いいたします。

こころの健康づくり講演会

精神保健福祉協会では、地域精神保健福祉思想の普及の向上及びその啓発を図り、県民の精神保健福祉の向上を資するため適当と認めた団体に対し、こころの健康づくり講演会開催の支援を行っています。今年度開催された講演会をご紹介します。

■『コミュニケーションについて～傾聴技法を中心に～』

日時：平成24年8月28日（火）14:00～15:30
場所：三島市立保健センター
講師：八木 阿紀氏
主催：三島市健康増進課



<講演会の様子>

保健委員40名、職員2名の計42名の参加により開催されました。講演では、講義として「聞く」「聴く」「訊く」の違いや、「同感」「共感」についてお話を頂きました。その後、ロールプレイを行い、二人一組でジェスチャー、言葉の反復、話の要約などをしながら様々な傾聴方法を体験しました。話を聞くだけでなく、ロールプレイで実践してみるという非常に有意義な講演でした。

■『こころの健康づくり講演会』

日時：平成24年9月29日（土）13:15～15:00
場所：菊川市総合保健福祉センター
講師：山名 純一先生
主催：菊川市健康づくり課



<講演会の様子>

健康づくり推進委員64名、一般32名の計96名の参加により開催されました。講演会として服部病院院長の山名純一先生による「適度なストレス解消できていますか？～うつ病予防の理解と対応について」のタイトルで、うつ病について、自殺の予防策、ストレスを溜め込まない対策についてお話を頂きました。講演後には、菊川市の職員を講師としてゲートキーパーの養成研修も行いました。「こころの健康」に関して非常に内容の濃い講演会になりました。

■『『最近のメンタルヘルス問題と対策～職場・家庭・学校～』

日時：平成24年11月29日（木）13:30～15:00
場所：韮山福祉保健センター
講師：佐久間 哲也先生
主催：伊豆の国市社会福祉協議会



<講演会の様子>

地域住民・近隣家族会会員・民生委員等の計50名の参加により開催されました。講演会としてエムオーエー奥熱海クリニック院長の佐久間哲也先生にお話を頂きました。地域で活動している福祉団体、ボランティア、民間会社などを対象にこころの健康について理解を深め、自殺予防などのネットワークづくりを考えるきっかけにもなりました。

■『森町こころのポカポカセミナー』

日時：①平成24年11月9日（金）19:00~21:00
 ②平成24年11月27日（火）15:00~16:30



場所：森町保健福祉センター

講師：①鈴木 勝昭先生

②太田 正義氏

主催：森町保健福祉課

＜講演会の様子＞

「気づいてほしい、思春期の揺れるこころ」をテーマに一般町民向けに①、教職員向けに②を行いました。①では、一般住民、民生委員（福祉部会）、保健委員、各ボランティア、保健福祉課職員等の計35名の参加により開催され、森町病院心療内科の鈴木勝先生にお話を頂きました。子どものつまずきを見逃さず、小さなサインを発見し、対応できるようになる為に有意義なお話でした。②では、町内小学校・中学校・高等学校の教員等の計15名の参加により開催されNPO法人 子どもの体験活動サポートセンター代表の太田正義氏にお話を頂きました。講師の先生の体験に基づいたお話を頂き、実践に繋がる講演となりました。

■『発達障害をもつ人への理解—地域ではぐくむ支援の輪—』

日時：平成24年11月23日（金）13:30~15:30



場所：牧ノ原市総合健康福祉センター

講師：桑本 正氏

主催：牧之原市社会福祉課

＜講演会の様子＞

教育関係者、民生委員、保健所職員、障害者団体等の計115名の参加により開催されました。藤枝駿府病院リハビリ統括部長の桑本正氏にお話を頂きました。その後、当事者とその母親の経験をお話して頂き三者の対談を行いました。地域での関わり大切さが話され、聴講された参加者からも「理解する」ことの大切さ（アンケートから）が述べられていました。

■『精神保健福祉講座』

日時：平成25年①1月17日（木）②1月24日（木）

③1月31日（木）④2月7日（木）

19:00~20:30 計4回



場所：藤枝市役所大会議室

講師：①須田 雄司先生

②田中 賢司先生

③中江 清員先生

④梅原 佳織氏 柴山 久義氏

主催：藤枝市自立支援課・藤枝市社会福祉協議会

＜講演会の様子＞

精神保健福祉に関心のある方、精神障害のある方と関わりのある方を対象に計4回行いました。1回目~3回目は、各精神疾患の特徴や症状、治療、経過等についての基本的知識や、日常生活上の困難・制限による生活支援の必要性、接し方の留意点等について学びました。4回目は、精神障害のある方が地域でどのような生活をし、どのような支援があれば安心して暮らせるのかを知り、支援方法や関わり方について考えました。

心の健康フェア2012開催

「心の健康フェア 2012」が、平成24年11月10日(土)から11月16日(金)まで、静岡県男女共同参画センターで開催されました。ハートフルアート展とジョイントコンサートを行い、県内の病院・施設等や県民の方々など、連日多くの方々に参加をいただきました。

ハートフルアート展



ハートフルアート展は、11月10日(土)から11月16日(金)、同会場2階大会議室・展示コーナーで開催されました。

病院・クリニック・保健所友の会など19団体が出展しました。手芸品や絵画などの作品も例年以上に大作・力作ぞろいでした。

期間中、病院・社会復帰施設をはじめ、県民の皆さんにも気軽にご覧いただきました。

また、会員紹介コーナーでは、病院などが、デイケアや作業療法プログラムなど日頃の治療活動の紹介を行ないました。

同会場 6階小ホールでは、バザーを開催、2団体が出展し、餃子、手芸品などの販売を行い、こちらも大好評でした。

ハートフルアート展 参加団体

保健所友の会 3団体

(熱海保健所あざみの会 静岡市保健所コスモス会 中部保健所竹の子会)

病院・クリニック 16団体

はなみずきクリニック

伊豆函南病院 大富士病院 富士心身リハビリテーション研究所附属病院

南富士病院作業療法室 南富士病院デイケア室 日本平病院 清水駿府病院 第一駿府病院

溝口病院 焼津病院 藤枝駿府病院 菊川市立総合病院デイケア 福田西病院

小笠病院手芸クラブ 小笠病院デイケア

ハートフルアート展 入賞団体

最優秀賞 焼津病院

会長賞 溝口病院

和・輪・話賞 第一駿府病院

ジョイントコンサート



ジョイントコンサートは、11月16日（金）午前11時から午後2時45分まで、同会場大ホールで開催されました。

静岡福祉大学と5つの病院・社会復帰施設が参加しました。各グループとも日頃の練習の成果を発揮した発表となりました。

また、特別出演として「オレンチェ」のスペシャルライブがありました。



ジョイントコンサート 参加団体と演目

第一駿府病院	小さい秋見つけた 瀬戸の花嫁
大富士病院	糸 思い出がいっぱい
日本平病院	川の流れるように
ハートピアワーク湖西	コンドルは飛んでいく 希望交響詩
沼津中央病院	明日という日が 翼をください
静岡福祉大学	YELL 栄光の架け橋

ジョイントコンサート 入賞団体

最優秀賞	沼津中央病院
会長賞	大富士病院
和・輪・話賞	日本平病院

1. こころの公開講演会を2回開催しました。

平成10年以来毎年3万人を超える方々が自ら命を絶っています。自殺対策基本法が制定され静岡県でもその対策に取り組んできました。しかし、一方ではその5~10倍の方が大切な方を亡くし苦しんでいると言われております。悲しみや苦しみが更に深くないように、自分達にできることを考える機会にしていだければと願い、第1回目は10月東部地区で開催、第2回目は去る3月8日の自殺対策月間にあわせて静岡市で開催しました。いずれも盛況でした。講師から交通教育と同様、学校教育で自殺教育も大切と言われた言葉が印象的でした。



2. ハートフルアート展で自死遺族支援事業について紹介しました。

平成24年度のハートフルアート展は、去る11月10日~16日の期間静岡市あざれあにて、開催されました。自死遺族支援関係の事業紹介のブースを設け紹介しました。資料として①すみれ相談のご案内 ②大切な方を亡くされた方へのポケットサイズカードとリーフレット③東部わかちあいの会の資料を置かせて頂きました。今回は直接その場での相談は実施しませんでした。その資料が減った枚数から関心ある方や直接かわりのある方の手に渡る事ができたと実感しました。

【各資料が減った枚数】

①すみれ相談のご案内	②ポケットサイズカードとリーフレット (大切な方を亡くされた方へ)	③東部わかちあいの会
20枚	各21枚	6枚

3. ポケットサイズの自死遺族支援リーフレットカードを手に取りやすい場所に設置します。

「大切な方を自死で亡くされた方に」を手に取りやすいように、箱にいれて所々に置くようにしました
東部各市町・東部各健康福祉センター
関係機関窓口、特に東部地区に配架しました。

ご希望・ご要望がございましたらご連絡ください。
(☎054-202-1220)



静岡県精神保健福祉協会

〒422-8031 静岡市駿河区有明町2-20 静岡総合庁舎 別館4階
TEL&FAX 054-202-1220
E-mail : sizuoka_seisin@ybb.ne.jp
(事務局出勤日 火・木・金の 9時~16時)